

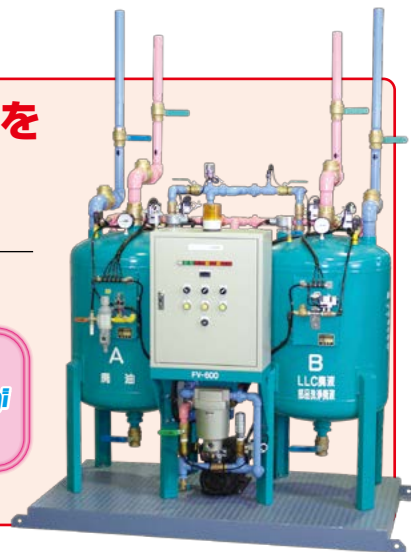
新発売

工場全域から「廃油」及び「LLC廃液・部品洗浄廃液」を 分別管理できる複合廃液集中吸引システム FVシステム

FV-600

- 各廃液を手を汚さずにスピード処理できるので、作業の効率化とクリーン化を促進します。
- 粒状異物が混入した廃油、廃液にも対応。
- 必要な時に必要な時間だけ作動する省エネ型自動運転設計。

全自動で
メンテナンスが
簡単

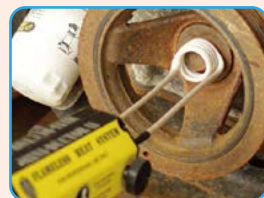


新発売

電磁波誘導加熱でボルトの錆び、 固着したネジ止め剤もラクラク除去！ ミニダクターⅡ

MD-700

- 電磁波誘導加熱で、錆びやネジ止め剤による固着を取り除きます。
- 人間工学的にデザインされた、滑りにくいハンドル部。
- ボディーサイドモールディングの剥離、エンブレムの剥離、小さな凹みの修復にも最適。



デモ
できます！



近日発売

立ち姿勢で快適作業！リフトアップしたまま、 タイヤ脱着が可能な新型ホイールドロー ッター

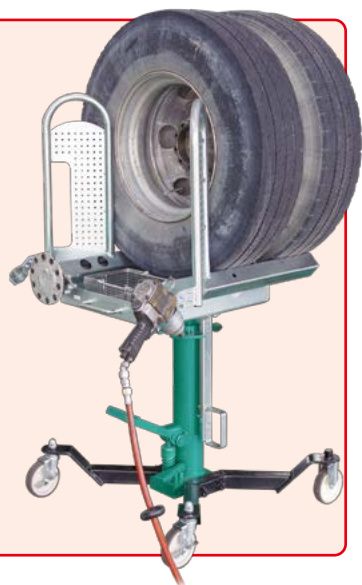
THJ350-C

- キャスターを固定したまま、搭載ホイールが360度水平回転。狭いスペースでも効率的な作業が可能。
- 片足で昇降操作しながら、両手で簡単にホイールの脱着作業ができます。
- ドライブシャフトやインパクトレンチのホルダー、部品・工具置きスペースなど装備が充実。



能力
200kg

4tトラック
まで対応



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ「ANZEN Web」ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所／安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25 ●ANZEN NEWS 60号（2013年8月1日発行）

2013

Summer
VOL.60

自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS

95
ANZEN
SINCE 1918
交通報国95年
これからの未来とともに

SAFETY ANZEN

CHARGE

第33回 オートサービスショー2013

たくさんのご来場
ありがとうございました。

「第33回 オートサービスショー 2013」が、
7月5日（金）～7日（日）の3日間にわたり開催されました。

「新鋭機器からアフターサービスまで、お客様のニーズに即した“これからの整備”をサポート」をコンセプトに、市場の変化に合わせて進化した当社商品を多数出品いたしました。累計33,000人のお客様をお迎えし、皆様より頂戴しました貴重な声を、これからの商品開発に役立て、よりお客様に喜んでいただける商品としてご提案できるよう取り組んでまいります。



車検機器



大型車用
整備機器



洗浄機器



足回り機器



小型車用
整備機器



サービス
メニュー

三菱ふそうトラック・バス株式会社 九州ふそう 久留米・鳥栖・甘木支店 ハ女サービスセンター

福岡県筑後市長浜231-1
Tel. 0942-54-1230

知りたい!
元氣な工場の秘密

今回訪問したのは2013年4月1日、福岡県筑後市に新設オープンした九州ふそう「ハ女サービスセンター」です。交通の要所となる九州自動車道のハ女インターチェンジから約500メートル南に位置し、敷地面積は約1万3千平方メートル、検査ラインを含め8ストールを完備。工場設備には余裕を持たせており、大型トラックの取り回しの良さに結びつけて作業効率アップを図ります。また、建物内には部品庫を併設し、九州地区における部品供給効率を引き上げていく方針です。そんな九州ふそうの総社員は約700名、ハ女サービスセンターのスタッフは16名(うちメカニック5名・検査員1名)です。月間車検入庫台数で約100台規模を目指すほか、一般整備の入庫獲得にも積極的に取り組んでいく同店の今後の展望についてお話を伺いました。



久留米・鳥栖・甘木 担当常務
支店長
千綾 章公 様



ハ女サービスセンター
サービスセンター長
高藤 謙治 様



同社初となる環境に配慮した設備と新鋭機器が揃った先進の大型整備工場

■最新鋭の環境に配慮した整備工場

「環境にやさしい工場」として、ハ女サービスセンターは三菱ふそうトラック・バスが掲げる企業ビジョン「FUSO 2015」に即した、環境に配慮した最新整備工場のモデル拠点として位置付けられています。工場屋上にソーラーパネルを設置したほか、工場内にはLED照明を採用。電気の消費量を集中管理し、エアコンの制御を自動で行うことでピーク電力を抑えるエネルギーマネジメントシステムを導入するなど、積極的にCO₂削減に取り組んでいます。さらに、洗浄後の汚水をバイオ処理して洗車水として再利用する排水処理システムも完備しました。サービスカーも電気自動車やハイブリッド車を用意し、徹底的に環境重視の企業であることをアピールしています。「今やどの企業も環境問題に取り組んでいます。最新鋭の機器が揃い、環境にも配慮したエコな工場であれば整備も安心して任せられると、お客様に信頼感を感じてもらえるのでは」と千綾支店長。こうした設備をセットで取り入れたのはハ女サービスセンターが初。全国でも同様な設備を順次展開していくことから、高い注目を集めています。

■生産性を高めるための最新設備が充実

ハ女サービスセンターは環境対応はもちろん「生産性の向上」を図る最新設備が整えられています。「作業が効率化したメリットをお客様に還元していきたい」と、千綾支店長はその効果に期待しています。完成検査ラインには、トータル車検ラインシステム「ラインマスター」を導入。さらに自動車保守管理システム「メインテック」により指定記録簿への印字にも対応しています。



トータル車検ラインシステム「ラインマスター」はリモコン1つで車検のすべてが完了!

「当社の工場の約3分の2がこのシステムを導入しており、生産性の良さは認識していました。正確な入力が自動的にでき、システム化されているので作業者に左右されず、作業が平準化できますね」(高藤サービスセンター長)。加えて、

ヘッドライトテスターはスピード重視で全自動タイプを選定し、とことん効率を追求しています。整備ストールには「ツインパワーリフト」の4柱式と2柱式を2基、「2分割フロアリフト」を設置。「小型トラックの入庫が多いので、2台縦列整備ができる「ツインパワーリフト」の4柱式は特に重宝しています」(高藤サービスセンター長)。また、前後でピット幅が違う「2分割フロアリフト」も、車型に合わせて臨機応変に使用でき、ストールの有効活用に貢献しています。



中・小型トラックの2台同時整備が可能な4柱式ツインパワーリフト



オイル交換や下回りのクイック整備に最適なフロアリフトは2分割タイプを導入

■ES向上を考えて導入した作業改善ツール

秋には指定取得を予定しており、一般整備の入庫獲得にもますます力が入るハ女サービスセンター。工場内のクリーン化にも力を入れています。利便性抜群の独自の吊り下げ式工具ボードは、「床に部品や工具を置かない」という考えを前提に作られています。その他にも、ブレーキパッドの交換時にブレーキダストや粉塵が舞うのを防ぐスボットタイプの集塵機を導入するなど、メカニックの健康面への配慮も決して忘れてはいません。たしかな設備と信頼の技術力。地域のお客様に高レベルのサービスを提供していく同店の、今後のさらなる活躍に期待が高まります。



オリジナルの吊り下げ式工具ボード。工具や部品の床置きをなくすだけでなく、使いやすさも格段に向上

株式会社ホンダカーズ宮城中央 あすと長町店

宮城県仙台市太白区あすと長町3-2-39
Tel. 022-247-6151

いま注目!
のショッップ訪問

株式会社ホンダカーズ宮城中央は宮城県内に20店舗を持ち、昨年9月に長町店を移転・新築して新たに「あすと長町店」としてオープンしました。現在店長、工場長を含め22名の陣営で新店舗を運営しています。昨年9月にオープンした店舗はJR・地下鉄の長町駅に至近距離にあり、数々の建設が予定されている新興商業地域に位置しています。現在の保有母体は4,100人程度と見ており、旧店舗の約3,800人を大きく上回ります。これは移店により商圏が拡大したことも理由でしょう。そんな地域と共に成長している「あすと長町店」様に今回はお話を伺いました。



店 長
鈴木 洋太郎 様



工場長
菊池 義郎 様

雪国の心をつかむ! 地域に根ざしたサービスと高効率整備

■ピット削減、品質そのままの高効率整備

新設工場は5ピット、検査ライン、屋外に門型洗車機のレイアウト。1日あたりの平均車検台数は6～7台とすることで、移店前の8ピットから数は減りながらもより多くのお客様の車を預っていることになります。「ピットを抑えても同じ品質スピードを保っていますので、トータルで見れば時間短縮になっているということでしょうか。設備も一新してメカニックからはどの機器も使いやすく効率化に寄与していると聞いています。機器の使い勝手が向上したということですね」と鈴木店長と菊池工場長。機器を活用した入庫促進策についてもお話を伺いました。

■地域性を理解した入庫促進策

洗車サービスに欠かせない門型洗車機は「カービスEX eco」を導入しました。その節水性については、「以前使用していた門型洗車機に比べ、水量は大幅に抑えられています。洗浄力も申し分ないです」と、鈴木店長。また、降雪地域特有の融雪剤除去のため「下部洗浄システム」を併設し、塩カリによる塩害対策にも対応。一般整備、車検、ブレーキパッドやエンジンオイルの交換などで入庫されるお客様を対象に無料で洗車しており、このサービスはお客様の喜びの声にもつながっています。足回りサービスもお客様からの需要が高く、シーズン前にはお客様も集中する傾向があります。昨秋は冬タイヤ500本を販売しました。履き替えたタイヤは保管・点検し、安全走行の観点から必要と判断すれば、タイヤ交換の提案も積極的に行なっています。冬には雪景色の広がるエリアであることもあり、タイヤ交換に人が集中

する分、省力化が可能なタイヤチェンジャー「クラシックFI AX」やホイールバルンサー「リブラック248HP」の活躍の場が多いとのことです。

■最新車検ラインと豊富なリフト

検査ラインは最新版の「トータル車検システムラインマスター」を導入し、4WD車の入庫に備えて「多軸フリーローラー」を設置。車種を選ばず、効率的な検査が可能なライン設備になっています。「画像処理方式手動ヘッドライトテスター」については現場の検査員からもエルボー一点の表示が早く、使いやすいとの声を頂戴しているとのことです。設置している4種類のリフトは、メカニックが作業状況を各自で判断し、使用しています。「マルチリフト」はジャッキポイントに合わせる必要がないので、急ぎの診断作業やオイル交換には最適で、「ファンタスリフト」と「アルネオリフト」は点検、一般整備に使用しているとのことでした。特に「ファンタスリフト」は耐震性という点でも作業者の安心につながっています。



「マルチリフト」でスピード点検、クイック整備



エルボー一点の表示が速く扱いやすい「画像処理方式ヘッドライトテスター」

■「これからの地」の足を支える

カフェをイメージした店内は、チャイルドコーナーが隣接するファミリー向けスペースと、落ち着いたある商談コーナーに分かれており、お越しになられる方が安心できる、心地よい空間を提供していました。「あすと長町店」周辺には大型店舗やマンション建設が予定されています。これから開発が進むに連れて店舗一帯は更に賑わいを見せることになるでしょう。地域の特長を理解したサービスと、効率化につながる最新鋭の機器、心地の良い空間が揃った「あすと長町店」。「地域に貢献する」と社にもある通り、「これからの地」の足を真摯に支える姿が目に見えます。



「カービスEX eco」と組み合わせた「下部洗浄システム」で車両下回りまでしっかり洗浄



タイヤチェンジャー「クラシックFI AX」で作業時の負担を軽減